

耶麻農高 農場便り

# あ・ぐ・り

Agriculture～農業～

## 第36号

平成26年12月17日発行

発行責任者  
農場長 星久一郎

### 農場長より

今年は農業クラブの活躍が目立った年でした。農業クラブ福島県大会の運営校として、2つの大会の運営に携わりました。6月家畜審査競技大会が福島の畜産試験場を会場として行われ、また7月情報処理競技大会が本校の情報処理室で行われました。その他、農業クラブ大会では、1年五十嵐智美さんが最優秀賞を受賞しました。五十嵐さんは沖縄で行われた全国大会にも出場しました。

写真はそば資料館前での農産物販売の様子です。今年度も野菜苗の販売に始まり、山都の新そばまつりや喜多方農業まつりなどにおいて農産物の販売を行いました。



### 畜産部門

現在の飼育状況は、繁殖牛3頭・子牛2頭、肥育牛10頭の黒毛和牛で学習をしています。

今年度は、5頭出荷し、肉質の格付けは肥育牛1頭A5・3頭A4・1頭A3の結果となりました。来年8月に出荷予定の肥育牛5頭にも高価格が期待されます。子牛の高騰により、1カ月遅れたものの、10月に新たに4頭導入しました。1頭は繁殖牛で残りの3頭は肥育牛として飼育しています。また、繁殖牛の方は、8月下旬に1頭・10月上旬に1頭生まれ順調に育っています。

プロジェクト学習は、来年1月末に行われる校内研究発表会に向けてまとめの段階に入っています。良い発表ができるよう指導していきたいと考えています。



### 草花部門

早いもので今年ももう終わろうとしています。4月からマリーゴールド・サルビア・ペゴニア・カンナ・キク・シクラメン等の草花の栽培・販売をしてきました。皆様の温かいご支援により、円滑に進めていくことができたことを感謝申し上げます。

また、喜多方市との連携事業として、市役所・喜多方駅にオブジェを設置しました。楽しんでいただけましたでしょうか。感想等をいただければ幸いです。次年度も実施しますので期待してください。これからも地域に愛される耶麻農業高校草花部門を目指していきたいと思います。お気軽に來校し、楽しんでください。ご愛顧のほどよろしくお願ひします。

【今後楽しんでいただけそうな草花】 サイネリア・キューエンシス



### 作物部門



水稻においては、天候にも恵まれて、稲も順調な生育を見せ、昨年同様の収量を上げることが出来ました。しかし、米価の下落のため大きく減収となりました。作物班は研究テーマとして「そばとエゴマを使った商品開発」として、昨年から取り組んできました。そこでは、そば打ち技能講習に取り組んできた内容を生かして、いろいろな方法でそばが活用できないか、研究しています。写真は山都小との交流事業の様子で、バインダによる稲刈りの風景です。

### 野菜部門

今年も野菜苗を始め、耶麻農高の農産物をご購入いただきありがとうございました。夏にやや雨や曇りの日が多かったですが、秋口からは快晴が続き、台風も少なく、白菜・ダイコン・ネギなどがしっかり生育しました。それらの野菜はミニ文化祭をはじめ、山都町・喜多方市内で販売することができました。また今年も、東京の東大和市と山都町の交流事業で耶麻農のネギを東京に出荷したところ、すぐ完売するほどの好評でした。現在は、たくあんや甘酢漬けなどの漬物を製造しているところです。これからも皆様のご期待に応えるためにも安全で美味しい野菜を、生徒と共に生産・販売して参りますので、是非お買い求めいただけますようお願いいたします。



### 農業クラブより

今年の農業クラブ活動の概要を紹介します。

各種大会に学校代表として多くの生徒が出場し、農業鑑定競技では、1年1組の五十嵐智美さんが1年生ながら最優秀賞、3年1組の中川諒久君は2年連続優秀賞でした。家畜審査競技では、3年1組の井上竜哉君が2年連続優秀賞を獲得しました。意見発表大会では、2年1組の芳賀樹菜さんが、優秀賞でした。来年は是非、出場者全員が入賞できることを願っています。研修会には、東北夏季研修会に2名参加しました。参加した生徒達は、参加校の活動状況を知り、かなり刺激を受けて来たようです。なお、家畜審査競技と農業情報処理競技の運営校として、生徒達は、大会運営にあたり大会を成功させることができました。このことを来年の活動に活かしてほしいと思います。今年の農業クラブ活動は、校内研究発表大会を残すのみとなりました。ここからは新役員でさらに活動を盛り上げようと努力しています。

